

小中学生のマスク着用の現状は



藤本 和美 議員



各家庭の判断に委ねている

マスク着用は個人の判断となったが、高温多湿下でも着用している児童生徒が見られる。

問 小中学生のマスク着用の現状を伺う。

答 教育部長▼熱中症対策でマスクを外す生徒が増えた。各家庭の判断に委ねている。

問 暑さや息苦しさを感じたり、体を動かすときは、外すように声かけしているか。

答 熱中症の心配がある場合、マスクを外すように促す。

問 学校で子どもは、一日8時間以上マスクをしているが、心身の成長期に長時間マスクを着用するデメリットを把握しているか。

答 専門家が、それぞれの立場でさまざまな意見を述べていると把握している。

問 健康な子どもにも長時間のマスク着用は不要と考えるが、子どもたちは着用のデメリットを把握しているか。

答 熱中症対策は指導しており、子どもも理解している。

問 人の目が気になったり、精神的な理由でマスクが外せない子どもはいるか。

答 調査はしていない。

問 「子どもが学校生活でだけマスクを外せない」と保護者から相談を受けたら、学校はどう対応するのか。

答 教育部長▼マスクの有無で差別や偏見がないように指導する。

安全な学校給食の考えは

安全な食材の調達に努める

問 食材や調理方法のこだわりの基準はあるか。

答 教育部長▼地場産物や郷土料理を盛り込み、着色料や発色剤は使用しない。鯉節からだしを取るなど、化学調味料は使わない。

問 米の農薬使用状況と残留農薬検査の実施状況を伺う。

答 環境経済部長▼基準を遵守して殺虫



子どもたちの輝く笑顔

剤、殺菌剤、除草剤を使用し、残留農薬分析をJ Aが実施する。

問 ゲノム編集、遺伝子組み換え、昆虫食などの使用はあるか。

答 教育部長▼ゲノム編集は確認が難しい。遺伝子組み換えと昆虫食は使用しない。

問 安全な学校給食の考えを伺う。

答 教育部長▼安全な食材の調達に努め、安心安全な給食を実施する。

づくりに取り組む。

問 保護者の理解が進まない段階で、行き過ぎた性教育が実施されないか。

答 教育部長▼学習指導要領に基づき実施している。

問 他市町で起こった、女性や子どもの人権を脅かすトラブルを防ぐ方策を伺う。

答 企画部長▼多くの事例の情報収集をしながら慎重に対応し、LGBTに関する情報を正しく発信する。

LGBT理解増進法の運用は

全ての住民が住みやすい環境に

問 LGBT理解増進法の運用を伺う。

答 企画部長▼町民の理解を深めながら、誰もが住みやすい環境

ことば解説
【※LGBT理解増進法】
性的少数者に対する国民の理解を増進することを目的とした法律。



たきょう つよし 田境 毅 議員

避難所開設の課題解決策は

関係部局と迅速な協議連携



避難所、学校、保育園など連携が課題。災害時の安全・円滑な避難体制構築を問う。

問 避難所への移動手順は安全で円滑に避難可能か。

答 総務部長▼幸田町 避難情報の判断・伝達マニュアルを定める情報発令。移動は徒歩の他、自家用車を想定。

問 6月2日避難所開設における課題解決策、混乱を発生させないしくみづくりは。

答 今後、課題に関して協議すべき問題である。関係部局間の迅速な協議連携を図る。

問 相見駅東エリア冠水状況を踏まえ、地域内の交通誘導の在り方、住民が安心できるしくみづくりは。

答 建設部長▼町道驚田アンダーパス通行止め誘導対策モデルは作成。アンダーパス冠水通行止め情報は、タウンメール等で周知。総務部長▼地元区長と対応している。今後高



冠水した市街地の道路

台にある民間事業者等の協力を呼び掛けたい。

問 通行止め情報発信は高評価。ハザードマップへ画像表示は。

答 建設部長▼道路冠水についてSNS活用、画像位置表示方法など、企画政策課と調査研究を進める。

問 避難行動要支援者をはじめ、住民の命を守る対策は。

答 個別避難計画の作成を進めている。

問 県道アンダーパスの通行止め予防は。

答 錦田アンダーパスの排水改善したが根本的な解決は難しい。

問 菱池遊水地の稼働が恒久対策だが、稼働を早める考えは。

答 県と連携し一日でも早い完成となるよう事業推進したい。

更なる産業・地域活性化を

令和6年4月に
条例施行目指す

中小企業が活躍できる環境づくりは、地域活性化に直結。アフターコロナを見据えた産業・地域活性化が課題。

問 中小企業振興基本条例の制定状況は。

答 環境経済部長▼令和5年4月末現在、16町村のうち5町村が制定。西三河管内10市町のうち5市。蒲郡市が令和4年4月に施行。

問 行政の役割、条例制定による効果は。

答 町の主体的な姿勢・責任が明確となる。問題を表面化させ、迅速な対応に結びつく。

問 町民の理解協力が
必要だが、課題は。

答 条例をどう作り、
どう動かしていく
のかが課題である。

問 更なる産業・地域
活性化を実現する、
中小企業振興基本条例
を制定すべき。

答 令和6年4月条例
施行に向け動いて
おり、理念型条例制定
を目指したい。

問 条例の理解や実効
性の課題を解決す
る推進体制は。

答 支援施策等を考え
る推進検討会設置
もイメージしている。

問 改善のPDCAサ
イクルを回し続け
る計画は。

答 継続的に実行して
いくことが重要と
考えている。